

「札幌大学・森林総合研究所 合同公開講座」

開催報告

日時：平成25年12月19日（木）13時30分～15時50分

会場：札幌大学 6504 教室

【講座1】

講師：早矢仕 有子 教授 札幌大学 地域共創学群 教養学系

内容：—シマフクロウを知っていますか？—

北海道の自然を象徴するシマフクロウが絶滅の危機に瀕している理由と、保護への取り組みを紹介しました。

棲家となる森林の減少、食糧となる魚が棲む河川の整備が進んだこと、交通事故などが絶滅の危機に瀕している主な理由と考えられます。シマフクロウの減少を食い止めるため、広葉樹の植林、巣箱の設置、池の作成、基金の設立などの様々な保護活動が繰り広げられています。また、ヒナたちの戸籍登録をして生態の調査研究を行っています。

【講座2】

講師：平川 浩文 主任研究員 森林総合研究所北海道支所

内容：—雪に眠るコテングコウモリ—

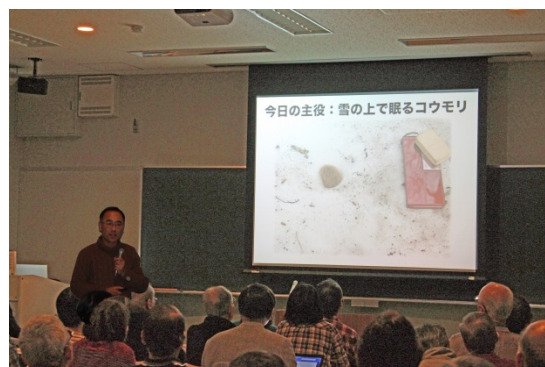
コテングコウモリは雪の中で越冬している可能性が高いことがわかりました。調査結果や今後の課題について紹介しました。

「コウモリは空飛ぶ哺乳類」。コテングコウモリは夏は枯葉の中を、晩秋～初冬は樹洞の中をねぐらとしています。そして「いままでに積み重ねた調査記録などから、降雪後に雪上に移動し、冬眠して越冬している可能性が高いことがわかりました。雪上に移動する時期や雪中の様子、雪上に姿が出現し冬眠が開ける時期などについて、様々な角度から推測した結果を解説しました。

今回はご近所の札幌大学と、初の試みとなる合同公開講座を開講しました。「道民カレッジ」の連携講座にも認定され、市民の皆様幅広くご参加いただけたものとなりました。その昔は札幌にも生息していたシマフクロウ、意外と身近に生息しているコウモリの生態について、参加者の皆さんは大変興味深く熱心に受講され、概ね良い評価をいただきました。（参加者数：84名）



講座1 講師：早矢仕



講座2 講師：平川